**藤井家文書**

この記録文章の作者である藤井家は、1700年代初頭に現在の白川村のすぐ北に位置する、現在の富山県南砺市の一部である赤尾集落から白川郷に移ってきたと考えられている。1820年代になると、当主は鳩谷、内ヶ戸、加須良の3村を管轄する名主の地位を与えられた。藤井家の記録は、徳川幕府の長期にわたる安定した平和な時代が終わりに近づいていた1800年代半ばから後半にかけての名主の地位と職務を、歴史家がよりよく理解するのに役立っている。